

## 武部農林水産大臣談話

### 第4回WTO閣僚会議の結果について

1. 今回のWTO閣僚会議においては、閣僚レベルによる調整の結果、幅広くバランスのとれた項目を交渉対象とする新ラウンド立上げのための閣僚宣言が採択された。これにより、既に開始されている農業交渉は、新ラウンドの一部として、他の分野とともに一括して合意されるものとして位置付けられることとなった。
2. 閣僚宣言のうち、農業関係については、ケアンズ諸国の主張である農工一体論や、非貿易的関心事項への限定条件は盛り込まれず、農業交渉の結果を予断すべきでないとの我が国の主張が受け入れられた。また、林水産関係については、「持続可能な開発の目的」が明確に位置付けられ、地球規模の環境問題や有限天然資源の持続的利用を踏まえた議論が可能となる枠組みが確保されたものとする。
3. 今回の閣僚会議においては、私に同行していただいた関係議員や関係団体等のご支援をいただくとともに、EU等友好国との連携を重視し、特に40ヶ国の参加を得て非貿易的関心事項に関する閣僚会議をEU等フレンズ諸国とともに主催できたことは、極めて意義深いものとする。
4. 今回合意された閣僚宣言を踏まえ、今後行われる農業交渉及び林水産関係の交渉において、我が国としての考え方を力強く主張して参りたい。